



男性の育休も歓迎され、上司が成長させてくれる恵まれた環境です！



竹内 瑞貴さん(24)

株式会社FTS 生産管理部
歴史ある会社だが、大規模すぎずこころなりのやりたいことや新しいことにも挑戦できるのではと考え、新卒で入社3年目。

細やかなフォローをしてくれる上司で風通し良い職場です

仕事はいつものプロジェクトの日程進行管理や会議の進行等を担当しています。上司や先輩のサポートを受けながらも、日程管理などは自分で考え進めていくので、責任もありますがやりがいも大きいです。難しいことや戸惑うことも多いからこそ、プロジェクトが完了した時の達成感や喜びはひとしおです。本当に恵まれているなど感じるのは、職場の雰囲気の良いこと、岩瀬さんはじめ面倒見の良い上司がまめに声をかけてくれます。時には厳しい面もありますが、きちんと指導しはつきりと言ってくれるのがありがたく、日々成長させてもらっています。驚いたのは、職場内に育児休暇を3ヶ月取得した男性がいたこと。否定的なことを言う人は

誰一人おらず、むしろ皆が温かく歓迎する雰囲気がありました。私自身、この先結婚や出産後も働き続けたいという気持ちがあるので、仕事と家庭を両立しやすい職場風土があって、パートナーが育児に協力的であれば、実現可能なんだと感じています。



岩瀬 由貴さん(49)

株式会社FTS 生産管理部
自分のキャリアをもっと伸ばしたいと思いで中途入社19年目。3年前からグループリーダーとしてマネジメントを担う。

誰もが自分の能力を発揮し活躍できる会社にしていきたい

入社当初は人脈も知識もない所へ飛び込んでいったので、苦労の連続でした。ただ、上司に恵まれていたことや、寄り添い応援してくれる家族の存在が救いとなり「自分で決めた道だから」と奮い立たせ、とにかくがむしゃらだったことを覚えています。その後、大きなプロジェクトテーマを与えられたことで、他部署や社外とのパイプができ、そこで培われた経験や人脈が財産となっ

て、今の仕事にも大いに役立っていると感じます。またグループリーダーを任されたことで、更にモチベーションが高まりました。今はメンバーと目的目標を共有して、チームとしていかに1つにまとめるか考えたり、まめな声掛けや相談しやすい雰囲気づくりもしています。また2016年から「女性活躍推進プロジェクト」のメンバーの一員としても活動し、少しずつ成果を感じるようになってきました。しかし、女性活躍と言っても、全ての女性が皆一律で同じ気持ちで仕事に向き合っているかというところではないのも現実。今後の課題として、現状維持を望む女性達がどうしたらもっと仕事へのモチベーションを上げられるのか提案し、誰もがより自分の能力を発揮し、活躍できる会社にしていきたいと考えています。



株式会社FTSさんは先輩名鑑にも登場しています！



2019年度 豊田市女性のライフ&キャリア応援事例集



私らしくを叶えた女性が増えたらまちも企業も元気になった。



豊田市は女性の「ライフ&キャリア」を多角的な取り組みで支えています。

お問い合わせ

豊田市 産業部 産業労働課

〒471-8501 豊田市西町3-60 豊田市役所西庁舎 7階
☎ 0565-34-6774
✉ sangyou@city.toyota.aichi.jp
https://www.city.toyota.aichi.jp

豊田市女性しごとテラス「カプチーノ」

〒471-0026 豊田市若宮町1-57-1 A館 T-FACE 9階(豊田市就労支援室内)
☎ 0565-41-7555 (定休日:毎週火曜) https://toyota-terrace.jp

とよた男女共同参画センター(キラツ☆とよた)

〒471-0034 豊田市小坂本町1-25(産業文化センター 2階)
☎ 0565-31-7780 https://clover-toyota.jp



ワーク・ライフ・バランスの頭文字(W-L-B)をモチーフに、「働いて生活の調和を図る姿」などを表しています。



リノベットのデザインを担当させていただきました！

北原 康子さん(42) [4歳の子どもあり]

クリア・デザイン/アートディレクター・デザイナー
照に起業して実績もありましたが、下請け的な仕事から脱却して自分で発信して自分で仕事を作り出したいと起業支援プロジェクトに参加。思いを持つ仲間と出会う視野が広がり、現在「デザインで社会をよりよくしたい」という思いの実現に向けて活動のフィールドを広げています。

豊田市女性しごとテラス
カプチーノ
Cappuccino

女性しごとテラス
「カプチーノ」

再就職、転職を含め、女性の「はたらく」をワンストップで応援します。常駐のキャリアコンサルタントが、きめ細かく相談に対応。あなたのライフプランの伴走役としてお気軽にお声がけください。

女性しごとテラス「カプチーノ」はこちらからアクセスできます。



キラツ☆とよた

結婚や出産など、それぞれのライフステージに合わせて、仕事、趣味、暮らしなどバランスよく、自分らしいライフスタイルの実現を応援します。セミナーやイベントを通してあなたらしい生き方を見つけませんか。

キラツ☆とよたはこちらからアクセスできます。



とよたで女性の起業ができます
プロジェクト

女性の働き方の選択肢の1つである起業を支援するため、豊田市と豊田商工会議所、豊田信用金庫が連携して起業フェーズに合わせた各種セミナーを開催しています。

起業支援プロジェクトの過去実績をご覧ください！



働き方改革推進事業

専門家派遣制度や、優良事業所表彰を通して、事業所の働き方改革の取組をサポートします。働き方改革が進むことで、女性はもちろん、誰もが働きやすく働きがいのある職場づくりにつながります。

働き方改革推進事業について詳しくはこちらをご覧ください。





長川原 彩さん(28) [4歳2歳の子どもあり]
株式会社プラネット豊田/デザイナー

条件じゃなくて「やりたいこと」で 仕事を探すことができました

県外出身で漠然と孤独を感じながら子育てをする中で、可愛いチラシで知ったカプチャーノの存在。社会に早く出たいという思いがあり、まだ小さかった息子を連れて足を運びました。カフェのような気軽さでリラックスできる空間で、途中子どもをあやしてくれながら、キャリアコンサルタントの水野さんが親身になって話を聞いてくれました。最初は時間などの条件を伝えたのですが、「本当にやりたいことは何？」と聞いてくれ、ハッとしたことを覚えていますが、どんなことも受け入れてくれる雰囲気があり、丁寧に思いを聞き出してくださるので、自然と自分の本心に気づくことがで

きました。「本当にやりたいことならチャレンジしてみたら」という夫の後押しもあり、希望していたデザインの仕事に応募。スキルの面での心配はあるけれど、何事も一生懸命取り組む姿勢を見せたいという思いで面接を受け、ご縁あって今の仕事につくことができました。

働くことは 自分にとっていいことばかり

紙面デザインの仕事は、読者のレスポンスが原動力となって工夫やアイデアを生むのが楽しく、反響が仕事のやりがいにも繋がっています。面接の時に感じた「ここでなら自分の知らない世界や、視野が広がる」「学びながらやっていけそう」という直感通り、毎日が新鮮です。もっと仕事をしたいと思う反面、子どもが寂しい思いをしてないか心配な部分もあります。でもやりがいを持って働く時間ができたことで、気持ちの余裕が生まれ、家族への感謝の気持ちや子どもへの愛情、仕事の充実感も確認できるようになりました。「孫と接する時間が増えて嬉しい。」と快く受け入れてくれるお義母さんや、「諦めなくて良かった。やればできると思っていたよ。これからは助けるね。」と言ってくれる夫のサポート、また子連れ出勤にも寛容な職場であることも、ありがたいと感じています。

新たな分野にも挑戦し、 デザインを通して返還したい

今はグラフィックデザインをやっていますが、今後はwebデザインにも挑戦したいなと思っています。豊田市独自の素晴らしい文化を守りながら、時代に合った新しい価値観や発想で、色んな人が驚くようなものをデザインで作りたいです。まだまだ勉強中ですが、新しいこと、より大きなことに挑戦して、少しずつ社会に返還したいなと思っています。

Voice

採用を担当した
(株)プラネット豊田の岡本編集長



技術も向上し、表情も良く本当によく頑張ってくれています。

最新のごとテラス
おすすめ求人
はこちらのリンクからチェック!



自分の思いを出せる喜びと、形にしていける楽しさを知りました!

独立していく女性がとんとんいる中で学べる環境。刺激的でした

看護師として21年勤務してきました。この春まで市外の「訪問看護ステーション」で働いていましたが、「最期までその人らしく過ごせるよう支援したい」「地元、豊田市で訪問看護をしたい。」という思いが強くなっていました。今の会社を辞めて独立しようか、それとも転職しようか。迷っていた時に、「とよたで女性の起業できますプロジェクト」に出会いました。起業の知識は全くないところからのスタート。正直「女性が起業なんてできるのかな？」と思っている部分もありましたが、一緒に講座を受けている女性たちがとんとん独立していくのは、刺激的でした。

講座の中で起業プランを作成し、自分の思いを明らかにしていく中で、「やってみたらいいかも。私にもできるかもしれない。」と思えるようになりました。4月からのスタートにあたっては、不安7割、楽しみ3割。課題もたくさんあります。でも、仲間とベストなものを作り上げていくことは、本当に楽しみです。目指しているのは、利用者さんとそのご家族一人ひとりに光を当て、思いに寄り添えるような「訪問看護ステーション」。それから、働く人が仕事とプライベートの両立ができるような職場にしていけたら良いなと思っています。



鈴木 里加さん(42)
[15歳、11歳、6歳の子どもあり]
訪問看護ステーションひなた
(合同会社Soleil) 代表社員



「今、お母さんめっちゃ楽しいよ!」って子どもに言っています。

「自分らしさって何?」を知ったら、一歩踏み出せた!

「地区内に、子どもたちが思いっきり遊べる場所があったらいいのに。」「もっと地域とつながれる場所がほしい。」「3人の子どもを育てながら、よくそう思っていました。でも、「自分は何もできないし...」なかなか踏み出せずにいました。ある日、ふと目に留まったのがココプラスのチラシ。2年前にPTAを引き受けたことで、人にはそれぞれ得意なことがあることに気づき、「自分にできていることって何だろう?」もっと知ってみたいと思っていた私には、「自分らしさって何?」「何をしている時が一番楽しいの?」という講座中の問いかけが、とても心に響きました。母親なんだから「こ

あるべき」って思っていたけれど「自分のやりたいことをやってもいいんだ!」って、周りのお母さんの共感もあって、大人も子どもも誰でも立ち寄ることのできる「みんなのおうち」の活動をスタート。とりえず1年やってみようと思って続けてきましたが、「今、お母さんはめっちゃ楽しいよ!」って子どもたちに言えるくらい、毎日が充実しています。今後は、余裕をもって「みんなのおうち」が開催できるようお手伝いしてくれる人を増やしたり、イベントやバザーなどを企画して、地区内のつながりを増やすきっかけづくりをしていけたらと思っています。



鈴木 増美さん(45)
[15歳、10歳、5歳の子どもあり]
大人と子どもの集いの場
「みんなのおうち」主宰

memo
女性のための「学び」と「つながり」の場。
講師や参加者同士の語り合いで、たくさんの生き方に触れながら「わたしらしさ」を発見していきます。



子どもの成長も、スタッフの成長も心から喜べるのは、この園だからです。



中村 真奈美さん(48)
[16歳、14歳、11歳の子どもあり]
下林ひまわり保育園 園長
(株式会社 PROTECA)

不安でいっぱいだった仕事復帰

出産を経験し、子ども達へたくさんの愛情を注ぎたいと強く思うようになり、未子への入園を機に社会復帰を考えるようになりました。最初は週1回くらいの軽い気持ちで考えたものの、やはり自分にはこの仕事が一番という思いから、週2~3日短時勤務のパート保育士として復帰しました。8年のブランクがあり保育状況の変化に戸惑うことも多く、復帰当初は家庭との両立に悩んだこともありましたが、それでも働き続けてこれたのは、風通しの良い職場で、いつでも周りに相談し合える環境があったからです。

助け合う風土が根付き、 子育て中でも自分らしく働ける 職場環境が一番の魅力

職場には子育て世代の保育士がたくさんいますが、子どもの発病や行事の時も、互いに声を掛け合い助け合っています。「あなたらしい生き方を大切に」と社長が多様な働き方の選択肢を設け、意見を言いやすい場づくりをしてくださっていることも大きいですが、保育の仕事は大変なことも多いですが、普段から冗談を言い合ったり、プライベートの話をしたり、あたたかい雰囲気溢れる職場環境が一番の魅力です。働き始めて8年になりますが、パートから正社員へ転換し、主任を経て、2020年1月から園長へ昇格しました。お話をいただいた時は、正直驚きました。不安を抱えながら社長と話をしていく中で、これまでの仕事を評価し期待をかけてくださっていることを知りました。そこで得た自信、またいつも近くで支えてくれる社長や職員が存在が精神的にも心強く、「ひまわり保育園だから頑張れる」と今も働くモチベーションになっています。

人が成長する姿を見ることが 私の喜び

子どもの成長を間近で見られることが保育士の醍醐味。先生を指導する立場にも



なったことで、先生方の成長をも実感でき、責任ある仕事にやりがいを感じています。また豊田市働き方改革アドバイザー・講師派遣制度を利用して、管理職研修を受講しました。保育の世界では学ぶことのなかった分野で勉強になりました。普段からメンバーの顔色や表情をよく観察し、声かけもタイミングを見ながら実践しています。人が成長する姿を見ることが私の一番の喜びです。まだ園長になったばかりで不安もありますが、これからもコミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。

株式会社PROTECAさんは
働き方改革取組事例にも
登場しています!

